

10月定例教育委員会 会議録

日 時	令和2年10月14日(水) 午前9時30分～午前10時00分									
場 所	甲府市役所 9階会議室9-2									
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員									
出席事務局職員	饗場教育部長・土屋教育総室長・板山生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・樋口総務課長・寺田学校教育課長・内藤学事課長・穂山教育施設課長・堀口甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長・本田図書館長・宮川総務課課長補佐・橘田総務課課長補佐・吉田総務課主任									
傍聴人	なし									
署名委員										
委員会書記										
・教育委員あいさつ										
・会議録署名委員の指名 市川職務代理者										
・9月定例会会議録の承認 原案のとおり承認										
<table border="0"><tr><td></td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">數野</td><td></td></tr><tr><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">末木</td><td></td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</td></tr><tr><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岡田</td><td></td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</td></tr></table>			數野		末木		市川	岡田		原
	數野									
末木		市川								
岡田		原								
1 開会 數野教育長 初めにご挨拶させていただきます。 この度、10月12日付けで甲府市教育委員会教育長を拝命いたしました數野保秋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。前小林教育長をはじめ、歴代の教育長がお築きになられましたもの、また、それを結集しながら私自身も甲府の子どもたちのために、全力を尽くして参りたいと思います。是非、教育委員の皆様におかれましては、ご支援ご指導いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。 では、これより10月定例教育委員会を開会します。										
(1) 職務代理者あいさつ 市川職務代理者 皆さん、おはようございます。										

數野教育長をお迎えし、初めての定例教育委員会となります。數野教育長におかれましては、これまでの成果に加え、益々充実した甲府の教育を牽引していただけるものと期待しております。私たち教育委員一同も、微力ながらお役に立てるよう、精進していく所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルスによる肺炎は、一向に収まる気配がありません。ウイズコロナを合い言葉に様々な取り組みが進められていますが、状況に大きな変化はありません。私ごとで恐縮ですが、地元の神社の総代会の雑用係を仰せつかっております。神社のいろいろな祭礼にもコロナの影響が出ています。私のところでも春の祭礼を秋に延期したのですが、それも神事のみ実施という形になってしまいました。コロナが始まってからは、全国の神社で神事を行うに際して、疫病退散の祈願も執り行われています。そんな関係から総代の中で、疫病退散のシンボルであるアマビエのことが話題となりました。少し調べてみたのですが、このアマビエは、京都大学附属図書館に所蔵されている江戸時代の弘化3年(1846年)4月中旬の日付がある瓦版に描かれたものです。それには、アマビエの絵とともに、『肥後国(現在の熊本県)の海中に、毎夜光るものが出るので、土地の役人が視察に行ったそうです。すると図のような者が現れて、「私は、海中に住む“アマビエ”という者である。今年から6年は諸国豊作だ。しかし、病が流行したら早々に私の姿を写し、人々に見せなさい。』と言って、海中へと入っていった。』と書かれています。このことからアマビエには、疫病よけの力があると考えられたわけです。一方、「アマビコ」と呼ばれるものについても、同じ頃の天保15年(1844年)の絵や資料があり、こちらは『「私の姿を見る者は無病長寿、早々にこのことを全国に広めよ。」と告げている。』のだそうです。呼び方に論議もあるようですが、絵を見ますと両者は三本の足のようなものやくちばしなど似ているところがあります。ちなみに当神社の宮司によりますと、神様には猿田彦命や奥津彦命など何々彦という名前が多くあることからアマビコが本来の呼び方ではないかということでした。

福井県の歴史学者、長野栄俊さんのコラムに、「人には珍しい生き物などの姿を「見る」と除災招福のご利益が得られると信じる気持ちがあり、こうした絵を”護符”と考え、それを見たり、置いたりするだけで寿命が延び、悪事や災難から逃れられると考えたのである」とあります。思うに、それは国際化、情報化など江戸時代から大きく進展を果たした現代であっても、人の持つ心情としてはさほど変わらないのではないのでしょうか。

以上のようなことから、人知を超えたものを畏怖する心持ちは、われわれ日本人の持つ特質の一つではないかとも考えられます。このような思いが、私たちの社会が伝えてきた民俗的な伝承や習慣、隣人との関係のあり方などに対する理解、自然を尊ぶというような自然に対する思いや心に繋がっているように感じます。これは、特別の教科の道徳で扱われる敬虔といわれるような道徳的価値を構成する大きな要素の一つではないか、といったら、すこし言い過ぎでしょうか。

疫病退散の話から、いささか飛躍がありますがこのようなことを感じた次第であります。

ご静聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

數野教育長

会議録の署名委員は、市川職務代理者をお願いします。

(3) 前回会議録の承認

數野教育長

前回の議事録について、何かご意見はありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

數野教育長

第14号甲府市議会9月定例会の審議状況について及び第15号令和元年度決算審特別委員会の審議状況について、資料に基づき、一括して樋口総務課長より説明をお願いします。

(樋口総務課長より資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

市川職務代理者

カリキュラムマネジメントについて、あまり関係はないと思うのですが、コミュニティスクールといった取り組みはどのようなものでしょうか。

寺田学校教育課長

今のコミュニティスクールにつきましては、昨年度、一昨年度、善悠館小学校を研究指定にいたしまして、研究等をする中で今年度より善悠館小学校が市内初のコミュニティスクール校としてスタートしております。

今後につきましては、今年度より中学校のコミュニティスクールを目指しまして研究指定校として北西中学校を今年度と来年度、指定いたしました。この成果を踏まえて、今のところ見通しでは、2年後の令和4年度に北西中学校が中学校で市内初のコミュニティスクールとしてスタートを切れるように準備を進めています。

數野教育長

他にご質問ございますか。

末木委員

2点お願いがあるのですが。

1点目は10ページの教育格差を生じさせない取組についての答弁ですが、今、所得格差がそのまま教育格差や学力格差に繋がっているとされていますが、今回コロナで学校が臨時休業になった関係により、遠隔授業等が若干数増えた影響で、タブレットやパソコン等、十分な環境が整備されない家庭と整備される家庭という教育の格差が出たと思われま

先日の新聞記事で6月に調査した結果があり、年収400万未満の世帯だと3割がパソコンやタブレットの環境がないということで収入の格差で学力の格差がついたのではないかとということがありました。今回、予算化されたということで市の教育委員会にも、機器の貸与があると思いますので、是非配慮していただきたいと思います。家庭でも子どもによって学習時間がかなり違うと進路に影響を与えることもありますので、学校でも児童生徒の学習進捗を見ながら学習格差がつかないようにきめ細やかな配慮をしていただきたいと思います。

2点目は、子どもの性暴力をはじめ、いじめや虐待など、心配事・相談事をなかなか声に出しづらかったりしますので、どんどん相談しても良いんだよというような体制と相談は決して悪いことではないことを児童生徒に学校現場でお伝えできればと思います。

また、大人の世界で新型コロナの関係で自殺をされる方が増えてきていますので、そういった大人の社会を子どもの社会に反映させて、子どもも当然色んなストレスを抱えていますので、それについてもスクールカウンセラーを配置や学校現場においても、子どもたちによく目を注いで対応していただければと思います。

寺田学校教育課長

まず、1点目の教育格差の部分ですけど、この答弁でもありますように、来年度予算の中でモバイルルーター等を用意していますので、その辺のケアをしていきたなと、今年度につきましては、臨時休業の終わりごろから学校再開後と夏休みの2期に分けて、学習支援動画を提供させていただきました。1回目の第1弾はネット配信のみですが、第2回目の夏休みにつきましては、ネット配信とCATV両方併せる中で、両方の環境がないご家庭は2%という状況でしたので、ある程度その辺はフォローできたと思います。

また、そういう環境が揃わないご家庭は、学校の教室での視聴が可能であることをアナウンスさせていただきました。学習の遅れ等については、学習指導員を配置する中で、子どもたちにもフォローしていきたいということと、家庭学習につきましては、予てより学力向上の取組の中で、学校の授業と家庭学習をリンクして行うことが大事だということで、様々な家庭学習を支援する取り組み、リーフレットとかを含めて行いますので、今後、充実していくと考えております。

また、重要なご意見ですので、今後またどんなことができるか含めて、更に検討していく必要があると思います。

2点目の相談体制につきましては、今年度、スクールカウンセラーが市内小中学校全校に配置されました。ただ、それを上手く活用できなければいけませんので、委員さんがおっしゃるとおり、相談しやすい体制を作っていく必要があると考えております。そういう意味では、自分の弱いところを認めて、相談できることがある意味強さであるということもやっていく必要もあると思いますし、先生がまず目を配って子どもの状態を把握して、気になる子どもには先生から声をかけていくと、そんな丁寧な取り組みも一層進める必要があるのかなとも思っています。

その辺も含めて、取り組みを学校へもお願いしていきたいと思います。

原委員

2つの事項についてお尋ねします。

1つは、質問ではありませんが、補足といいますか、気になりましたのでお話をさせていただきたいと思います。8ページの子どもの心身の健康確保についてですが、パソコンやタブレッ

ト端末の使用について学校で指導していただいたとのことですが、見る角度の調整や椅子の座り方等に含まれているとは思いますが、これに加えて使用する時間もとても大切で、時間の指導もしていただきたいと思います。最近、スマホ首等以前小中学生ではなかったのですが、スマホやパソコンを長時間、使用することで、総合筋の緊張が生じてしまい、小中学生が肩を凝るということがありますので、使用する時間についても短時間に改善することをご指導いただければと思います。

2つ目は、28・29ページの自転車の保険の加入についてですが、29ページに「自転車通学者の保険等への加入状況については、既に取り組みが始まっており、今年度中に全ての学校で実施する予定」とありますが、実際に10月1日に条例が施行されておりますので、加入していない生徒は、自転車に乗れないという対応にしておかないと、万が一自転車で事故が起き、生徒がケガをさせた場合、補償されませんので、早急に対応していただきたいと思えます。

内藤学事課長

まず、子どもの心身の健康確保についてですが、文部科学省の方では、目が悪くならないように角度を変えたり、電気を消したりということが言われており、厚生労働省の方では、パソコン等をよく観る人は時間の制限をするようにと言われております。それを踏まえて今後検討していきたいと思えます。

原委員

よく30分とか1時間といわれておりますが、もっと短い時間にすることが大事で、読書の場合は同じ時間・姿勢でも良いのですが、タブレット等は目に負担をかけますし、ブルーライトの刺激もありますので、推奨するのは10分から30分以内となります。よく調べて頂き、ご指導をお願いします。

寺田学校教育課長

自転車通学者の保険等の加入状況についてですが、9月議会の前の段階で半数程度の学校で実施しておりました。残りの中学校におきましては、学校行事等をみながら、今年度中とはありますが、2学期の早い段階でやっていきたいということでもありますので、改めて学校に確認して早急な取り組みをするように促したいと思えます。

數野教育長

その他なにかありますでしょうか。

岡田委員

委員の皆さんがお話されたことに重なってきますが、中学校に通っている子どもがおりまして、一つの学校だけで全体が見えないところもありますが、学校の行事が減ったり、部活動も以前のようにできない中、子どもの意欲が変わってしまっているように思えます。臨時休業校になったことが大きかったと思えますが、子どもが頑張るスイッチを入れるタイミングがわからなくなっているように思えます。些細なことですが、例えば、部活動でも今までできていた下級生への配慮ができず、自分本位になってしまっているといったことが保護者からみますと、見受けられます。保護者の方も心配されていると思えますし、学校も苦慮していると思

ますが、先ほど先生が生徒一人一人に対して声をかけていくという配慮を進めていくという話もありましたので、子どもたちにとって大切な1年であると思いますので、学校の先生たちに子どものケアをしていただきたいと思います。

寺田学校教育課長

その点は、心配されていることとして、通常では考えられないことが起きましたので、通常では考えられない反応があるということを前提としながら、答えがはっきりわからない部分もありますけれども、その都度ベストのことをやっていく中で、学校にも努力いただいていると思っております。今年1年で終わりではなく、今後どのような影響が出ていくのか、経過をよくみながら、その都度市教委として、ケアしていかなければならないと思っておりますので、改めてその意識を持った上で、2学期後半から年度末に向けて学校経営を回していただきように学校に促しながら、教育委員会としてもサポートしていきたいと思っております。

數野教育長

ほかにはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

數野教育長

その他ですが何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

數野教育長

それではこれもちまして、10月定例教育委員会を閉会します。